

ごあいさつ

COVID-19 の感染拡大のために、高知大学で開催されるはずであった SPOD フォーラム 2020 は中止となりました。毎年この時期に集まり、和やかな雰囲気の中に、それぞれが抱える高等教育に関わる課題や悩みを共有し、真摯に話し合える機会を失ったことはとても残念なことでした。

この間、高等教育機関は、さまざまな形で COVID-19 に向き合ってきました。キャンパスのロックアウト、オンライン授業、学生の経済的困窮や精神的孤立などに対して果敢に挑戦してきた一年余であったといえます。

こうしたみなさんの成果や経験を共有する機会として、SPOD フォーラム 2021 を企画しました。はじめてオンラインでの開催としたのは、対面での開催を危ぶんでのことでもありますが、それ以上に、オンラインのさまざまなツールを使って SPOD フォーラムを開催することで、感染症対策にとどまらない、あらたな社会の高等教育について考える機会となればと考えたからです。全体テーマを「New Normal の大学教育を考える」としました。

New Normal は未だ熟さない用語かと思います。みなさん、それぞれに New Normal をイメージして参加していただくと幸いです。

感染症そのものへの対応は、この一年の経験をもとに有効な対策がとられていくでしょう。しかしながら New Normal の時代に、高等教育があらためて向き合わなければならない課題は、わたしたちが向かうべき方向性にも関わってくるものであるといえます。

SPOD フォーラムの愉しみは、参加者相互のコミュニケーションにもあります。研修での交流もさることながら、情報交換会での出会いやその後の交流が、ネットワークの大きな支えとなってきました。オンラインでどのくらいリアルな出会いを感じていただけるか、初めての試みとして「SPOD 夜市」の開催も予定しております。

オンラインで SPOD フォーラムを開催するにあたって、例年と違い、開催校の高知大学、SPOD 事務局の愛媛大学に加えて、コア校である香川大学、徳島大学のみなさんにも研修のオペレーションなどで運営に加わっていただきます。ご支援に心より感謝する次第です。

なにもかもが初めて尽くしであるために、参加者のみなさんや講師の方々にご迷惑をおかけすることがあるかもしれません。うまくいかなかったことも含めて、今後の SPOD の資産となると信じて開催にむけて準備してまいります。

SPOD フォーラム 2021 のチャレンジにご理解をいただき、多くの参加者を得て SPOD の輪がさらに強く大きなものとなることを願っております。

SPOD フォーラム 2021 事業実施責任者
(高知大学大学教育創造センター長)
塩崎 俊彦